

2010 1st Student Seminar.

Re:



総合研究大学院大学
平成22年度 入学式・学生セミナー

April 8th~9th, 2010
Shonan Village Center

はじめに

～平成22年度前期 学生セミナーを開催するにあたり～

ようこそ総研大へ。

在学生一同は皆様のご入学を心から歓迎いたします。

学生セミナーとは、
新入生を対象として入学式終了後2日間にわたって行われるセミナーのことです。

このセミナーの特徴は、
在学生が実行委員となって企画・運営を行っていることです。

毎年実行委員が、学生参加型のセミナーを目指し、
工夫を凝らしたセッションを準備しています。

平成22年度前期 学生セミナー実行委員長

基礎生物学専攻

久保 悟

Introduction

~ SOKENDAI student seminar, First Semester FY2010 ~

Welcome to the Graduate University for Advanced Studies; [SOKENDAI].

We heartily congratulate and welcome you all the new students.

In two days following the Entrance Ceremony, the SOKENDAI Student Seminar will be held that involves the new entrants.

As for the main characteristic of this seminar, the executive student seminar committee of senior students has made every plan and administers it entirely.

Annually the student seminar committee prepares for the thought illuminating sessions with ingenuity, aiming at the student enthusiastic participation.

Chairperson of the committee
SOKENDAI student seminar, First Semester FY2010.

by Satoru Kubo
Department of Basic Biology.

Re:

目次

はじめに	001
目次	003
スケジュール	005
テーマの趣旨	007
Session 1 . Relationship ~他分野との交流	009-012
Session 2 . Realization ~我を知る	013-016
Session 3 . Researchers ~研究者にとって大切なこと	017-020
セミナー会場マップ	021-024
バス時刻表	025-026
来年度実行委員について	027
前年度の様子（写真）	029
学生セミナー参加者	031-032
学生セミナー実行委員会	033-034
MEMO（余白欄）	035-036



セミナー日程

1日目 入学式終了後

- 15:10～15:30 移動
- 15:30～15:40 開会式

- 15:40～18:10 Session1 Relationship
～他分野との交流
- 18:10～18:30 休憩、チェックイン

- 18:30～19:50 夕食(懇親会)

- 19:50～20:00 休憩
- 20:00～22:30 Session2 Realization
～我を知る

2日目

- 07:30～09:00 朝食、チェックアウト、移動

- 09:00～12:30 Session3 Researchers
～研究者にとって大切なこと

- 12:30～12:45 閉会式、記念撮影
- 12:45～12:55 移動
- 12:55～14:00 昼食、来年度実行委員選出

Schedule



1st Day After the entrance ceremony,

- 15:10 ~ 15:30 Moving into the venue at SVC
- 15:30 ~ 15:40 Opening Ceremony

- 15:40 ~ 18:10 Session1: Relationship
~Cross-field Intercommunion.

- 18:10 ~ 18:30 Break and Check-in
- 18:30 ~ 19:50 Dinner
- 19:50 ~ 20:00 Break

- 20:00 ~ 22:30 Session2 : Realization
~Know Thyself.

2nd Day,

- 07:30 ~ 09:00 Breakfast and Check out

- 09:00 ~ 12:30 Session3 :Researchers
~Important qualities for Researchers.

- 12:30 ~ 12:45 Closing Session and taking ceremonial photographs
- 12:45 ~ 12:55 Moving back to the Hayama Campus
- 12:55 ~ 14:00 Lunch and Recruit for FY2011 Committee

私たちは、本セミナーのテーマとして **Re:** を選びました。

Relationship

Realization

Researchers

私たちは **Re:** にさまざまな意味を持たせました。
この3つは私たちから新入生へのメッセージであり、
それを具現化したものとして、3つのセッションが存在します。

2010 Theme

Re:

もう1つの意味は『返信』です。
メール返信のタイトルに用いる **Re:** です。

3つのメッセージに対して、みなさんが返事をしてほしい、応答してほしい、
という私たちの願いがこめられています。

本セミナーがこれからの研究生活にむけてのきっかけになれば幸いです。

As the special theme of this seminar we have chosen **Re:** .

Relationship

Realization

Researchers

We chose **Re:** as the prefix of many themes of interest.

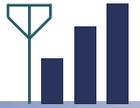
These three are the congratulatory messages from us to the new students,
and we have prepared three sessions composed of these three themes as embodied in our goals.



Another word with “Re:” prefix will be “Reply”,
often used for the title of an email reply; **Re:** .

We wish you to find your own answer in research activities,
and you will reply to these three messages from us in the future.

We sincerely hope that this student seminar will provide all of you a meaningful first step
for your research lives from now on.



趣旨

本セッションは、コミュニケーションの大切さを知ることを目的としています。

皆さんは、他分野の内容や目的を考えたことはあるでしょうか。また、自分自身の分野や研究テーマが、他分野の研究者にどのように受けとめられているか、これまで聞いてみたり、説明をしたことはあるでしょうか。

現在、総研大には22の専攻があります。

専攻名をみると、似たようなものもあればまったく違うものもあり、名前だけではその全容を知ることが出来ません。

そこで今回、専攻間の相互理解につながることを期待して、本セッションを企画しました。他分野との交流を行うことで、お互いに知らなかった共通点・相違点に気づいてほしいと思います。

幅広い分野との交流を図り、お互いを理解し合うために、コミュニケーションの大切さを知ってもらえればと思います。

総研大生としての「絆」を作るきっかけをぜひつかんでください。

※セッションが始まる前に、同封されている広報誌専攻紹介部分をご一読下さい。





Cross-field Intercommunion



Concept of the Session.

This session aims to realize how much important mutual communication can be to sustain good perspectives.

Have you ever had a chance to think about other research areas?
Or to know how other researchers think about your research area?

Now, we have 22 departments in SOKENDAI.
But it is difficult to realize what they carry out under different names.

In this session, we hope you will learn the importance of the communication.
We want you to communicate with other departments, and to know each of its individuality and diversity.

Please enjoy our session, and get a chance to make a link between you and other researchers.

* Please read the enclosed leaflet that provides information about every department, before this session begins.



Relationship

他分野との交流

Procedure.

1. イメージ調査

1. Let's guess the personality

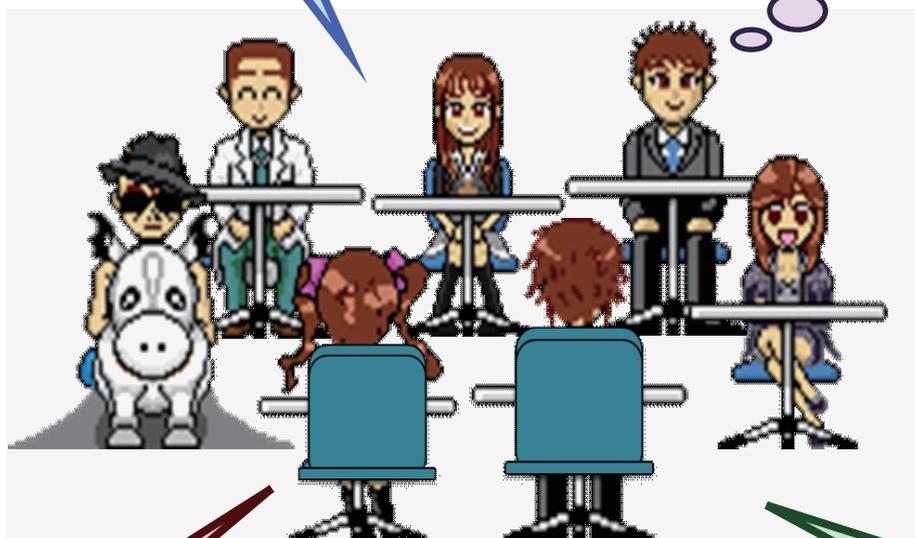
名前、専攻、研究キーワードから予想する、メンバーのイメージをグループで考えてみよう！

Let's guess the personality of each member from the name, department, research keywords, etc. and accumulate the image of him/her.



さんって、
どんな人なんだろうー

What type of a person is he / she according to his / her data?



3. グループワーク

2. Group Work

総研大としての自分たち。
「総研大(生)」って何だろう？
みんなで考えよう！

Let's think about what SOKENDAI students are!

2. 自己紹介

2. Self-Introduction

本当の自分はこんな人！
自分をみんなにアピールするチャンス！

Please introduce yourself to peers with an appealing attractive bio!



アイコンは「似顔絵アイコンメーカー」を利用して制作しました。
The icons are produced with "Portrait icon maker" below;
<http://www.abi-station.com/iconmaker/>

 **Memo.**





趣旨

ようこそ総研大へ

このセッション「我を知る」を通して私たちは新入生の皆さんに「自分とは何か」について考えていただきたいと思っています。

これから研究を進めていく上で私たちは、自分は何を目的としているのか、何をなすべきなのか、などを自らに問いかけていくことになるでしょう。そして、それらの問いは突き詰めていけば、自分とは何者か、へ行きつくのではないのでしょうか。

そこで総研大で新しい生活を始める前に、新入生の皆さんにじっくりと「自分はどこから来たのか、自分は何ものか、自分はどこへ行くのか」について考えていただきたいと思います。

その考えをまとめる1つの方法として、自分を「もの」に例える、という作業をみなさんに行っていただきます。

また、研究は一人ではできません。時には相手の意見に耳を傾け、そして自分の考えをしっかりと相手に伝えなければなりません。

そのためにも、自分を例えた「もの」を相手にアピールする経験もして下さい。

この先皆さんが研究を行うにあたって、このセッションで経験したことがお役に立てば幸いです。

手順

1. 各自研究者としての自分について(総研大にいたるまでの経緯、長所、短所などを)配布された用紙に記入します。(10分)
2. 1で記入した内容をもとに自分を「もの」に例え、そのイメージを用紙に記入します。(15分)
3. 1, 2で作成した用紙を用いてグループ内で発表し、研究者としての自分を相手にアピールします。(各自3分)
4. グループ内で代表者一人を相談して選び、研究者としてのその人を形容するキャッチフレーズをグループ全員で考えます。(20分)
5. 3グループをこちらで選出します。選ばれたグループの代表者には壇上で発表していただき、その後代表者・グループに対する質疑応答を行います。(各グループ10分)





Know Thyself



Re:
alization

Concept of the Session.

Welcome to Sokendai!!

In this session we would like you to think about who you are.

When you proceed with research, you often may have to ask yourself questions what you are aiming for, what you should do and so on. To answer these questions, we believe you have to consider who you are in the first place.

Therefore before beginning your life at Sokendai, we want you to spend your time on thinking “Where do I come from? What am I? Where am I going?”.

In this session, as one way to clarify these thoughts, we ask you to compare yourself to a distinctive “object”(e.g. animals, plants, products...).

Also you cannot accomplish research alone. Often, you have to listen to your peers’ opinions. Moreover, it is important to express your ideas to others. In this session we arranged some time for presentations. Please experience how to express yourself in front of others.

We hope this session will help you both in your life and in your research.

Procedure.

1. In the given form, please write down about; how you are as a researcher, why you chose Sokendai, what your merits and demerits are as a researcher, etc. (10 min.)
2. Based on the details you wrote in step no.1, compare yourself to a distinctive “object” and draw its image in the form. (15 min.)
3. By using the form you completed, give a presentation which makes the other members of your group think that you are attractive as a researcher. (3 min. /person)
4. Discuss and choose the best presenter in your group. Then, think a catchphrase that best describes that person. (20 min.)
5. We select 3 groups. The best presenters of the three groups make presentations in the podium. After each presentation we ask some questions both to the presenter and the group members. (10min. /group)



 具体例/Template.

<p>1. 研究に関するこれまでの経緯 1. Past process of your research life</p> <p>2. 自分の長所 2. Strengths</p> <p>3. 自分の短所 3. Weaknesses</p> <p>4. その他、特徴や覚書 4. Characteristic, personality makeup and others,</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>ものの名前 An object to describe yourself</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 20px; text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>例えたものの 絵を描いてみましょう。</p> <p>Let's draw the picture of it to describe your characteristic.</p> </div>
--	--

Example 1.

夕又コ^り

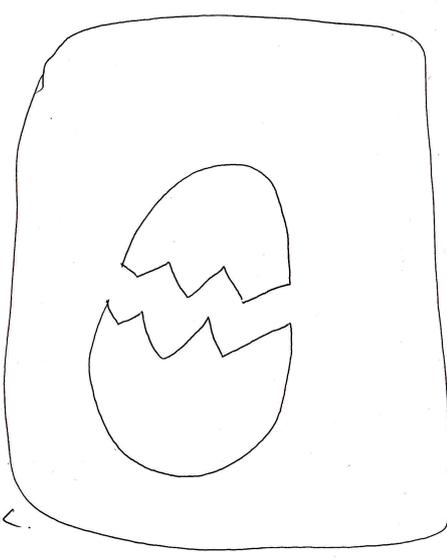
研究の今までの経緯：
外国語の言語学研究をしてきて
多様な言語・文化の人に接してきた。

長所：
それだけでなくおいしいが、つなみとして
様々な材料のかけ橋となる。

短所：
ほつておくとくさりやおい = ぬきやおい
常に冷蔵庫で冷たい刺湯を返さぬ。

特徴：
ヒューな温度か酒で
温泉玉子にもなった。

さあ、何を創ろうか？



班全員で決めたキャッチコピーがつきます。

Add an apt advertising blurb which all the peers in a group have decided.

Example 2.

研究者として ……

ここに至るまでの経緯.

もともとものを観察するのが好き

+ 小学校の先生の一言

長所

何ことにも手を振かない.

一つ一つ積み上げて行く性格
(一日にしてならず).

短所

整理されていない. 流行語は載ってません.

語の不足

→ 一つ一つ見直し、欠すつ作って行く.
随時更新して行く必要あり.

その他特徴

無人島に一冊持っていくなら百科事典

変化する百科事典



人生に厚みを





趣旨

ご存知のように、総合研究大学院大学は研究者を育成するための大学院大学です。みなさんは研究者になるために、これまでも勉学に励んできたと思います。しかし、研究者になるにあたって必要なものは知識や学問的な思考の枠組みだけなのでしょうか。

今回私たちは、研究者として第一線で活躍されている三名の先生方をお招きし、研究人生について語っていただくことにしました。その人ごとに、研究者になるにあたって必要なものは違うことでしょう。

あなたにとって理想の研究者像とはどういったもので、その理想に近づくには何が必要なのでしょうか。パネルディスカッションを通じてあなた自身で見つけてください。

手順

1. グループディスカッション (20分)

グループに分かれ、現時点のイメージとして「研究者にとって大切なこととは何か」をテーマに学生同士で意見を出し合います。まとめとして、グループごとにワークシートを作成していただきます。

2. 招聘した先生方の講演 (20分×3名)

伊勢田哲治先生

(京都大学 文学研究科 准教授)

西成活裕先生

(東京大学 先端科学技術研究センター 教授)

坂東昌子先生

(愛知大学 名誉教授、NPO知的人材ネットワークあいんしゅたいん理事長)

3. パネルディスカッション (60分)

グループディスカッションと先生方のご講演を通じて、みなさんが考える「研究者にとって大切なこと」を壇上の先生方と議論を交わしていただきます。

4. まとめ (20分程度)

本セッションの総括を行います。グループディスカッションの際とかわったこと、かわらなかったこと、パネルディスカッションを通して新しく発見したことなど、本セッションで学んだ「研究者にとって大切なこと」を一人一人がそれぞれ一言でまとめていただきます。





Important qualities for Researchers



Concept of the Session.

As you know, Graduate University for Advanced Studies (SOKENDAI) was established to encourage students to be researchers. We are sure that you have worked hard at your lessons. However, is either only knowledge or framework of thinking of studies needed to be researchers?

To resolve the questions, we opted to invite three professors who have been active in the forefront of their own disciplines to today's seminar and ask them to provide lectures on their lives as researchers. It may be different from individuals what they need to be researchers.

How is your ideal image of a researcher? What is required to optimize it?
Let's find it by yourself through panel discussions.

Procedure.

1. Group Discussion (20 minutes)

After being divided into some groups, you discuss what are important for researchers among the students. You summarize and write them in the paper in each group.

2. Lectures (20 minutes x 3)

Associate Prof. Tetsuji Iseda

Graduate School of Letters, Kyoto University

Prof. Katsuhiro Nishinari

Research Center for Advanced Science and Technology, the University of Tokyo

Emeritus Prof. Masako Bando

Faculty of law, Aichi University,

and the chairman of the board of directors of NPO network; "EINSTEIN"

3. Panel Discussion (60 minutes)

After considering the questions through the group discussion and the lectures, you discuss what are important for researchers with the professors, who are in the podium.

4. Summary (20 minutes)

You summarize this session. Each student sums up what you learn about what is/are important for a researcher. For example, what become different from that in the group discussion, what is invariant, and what you find through the panel discussion.



 講演者紹介

伊勢田 哲治(いせだ てつじ)



所属 京都大学 文学研究科 准教授
 研究分野 科学哲学、倫理学
 研究課題 科学的实在論、倫理学の方法論、社会認識論など
 主な著書 『疑似科学と科学の哲学』名古屋大学出版会 2003年
 『動物からの倫理学入門』名古屋大学出版会 2008年
 『哲学思考トレーニング』ちくま新書 2005年
 参照URL 京都大学 文学研究科
http://www.bun.kyoto-u.ac.jp/~tiseda/index_japanese.html

西成 活裕(にしなり かつひろ)



所属 東京大学 先端科学技術研究センター 教授
 研究分野 数理物理学、及び渋滞学
 研究課題 渋滞現象の数理と応用(車、人、物流、生体高分子、アリなどの流れとその渋滞解消)
 主な著書 『無駄学』新潮選書 2008年 講談社 2008年
 『クルマの渋滞アリの行列』技術評論社 2007年
 『渋滞学』新潮選書 2006年 など
 参照URL 東京大学 先端科学技術研究センター
<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/tknishi/>

坂東 昌子(ばんどう まさこ)



所属 愛知大学 名誉教授
 NPO知的人材ネットワークあいんしゅたいん 理事長
 研究分野 素粒子論、交通流理論、経済物理学、環境問題
 研究課題 素粒子論、特に定年後は気候変動の物理、統計学考察、科学教材作りなどにシフトしつつある
 主な著書 『物理と対称性』丸善出版
 『性差の科学』共編著 ドメス出版 2007年
 『生命のフィロソフィー』共編著 現代思想社
 『4次元を超える物理と素粒子論』共著 共立出版 など
 参照URL NPO知的人材ネットワークあいんしゅたいん
<http://jein.jp/blog-masako.html>



 Lecturers.

Tetsuji ISEDA, Ph.D.

[Title] Associate Professor, Graduate School of Letters, Kyoto University
 [Research Area] Scientific Philosophy, Ethics
 [Research Subjects] Scientific Realism
 Methodology of Ethics
 Social Epistemology
 [Reference] Graduate School of Letters, Kyoto University
http://www.bun.kyoto-u.ac.jp/~tiseda/index_japanese.html

Katsuhiro NISHINARI, Ph.D.

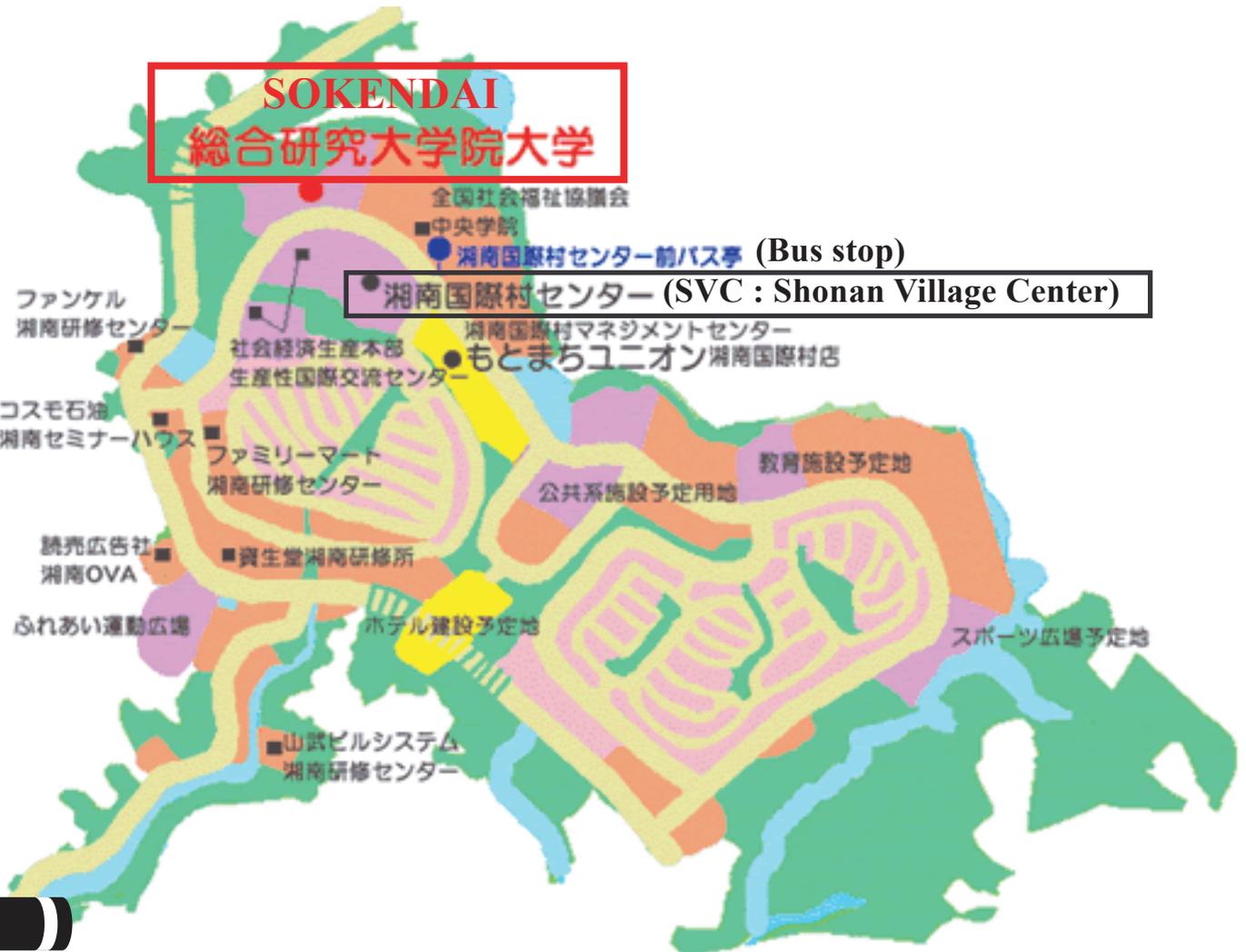
[Title] Professor, Research Center for Advanced Science and Technology,
 The University of Tokyo
 [Research Area] Mathematical Physics, Jamology
 [Research Subjects] Mathematical Aspects of Traffic Phenomena and the Application
 (Flow of Cars, Pedestrian, Ants, Molecular Motors,
 and Solution of These Traffic)
 [Reference] Research Center for Advanced Science and Technology,
 The University of Tokyo
<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/tnishi/>

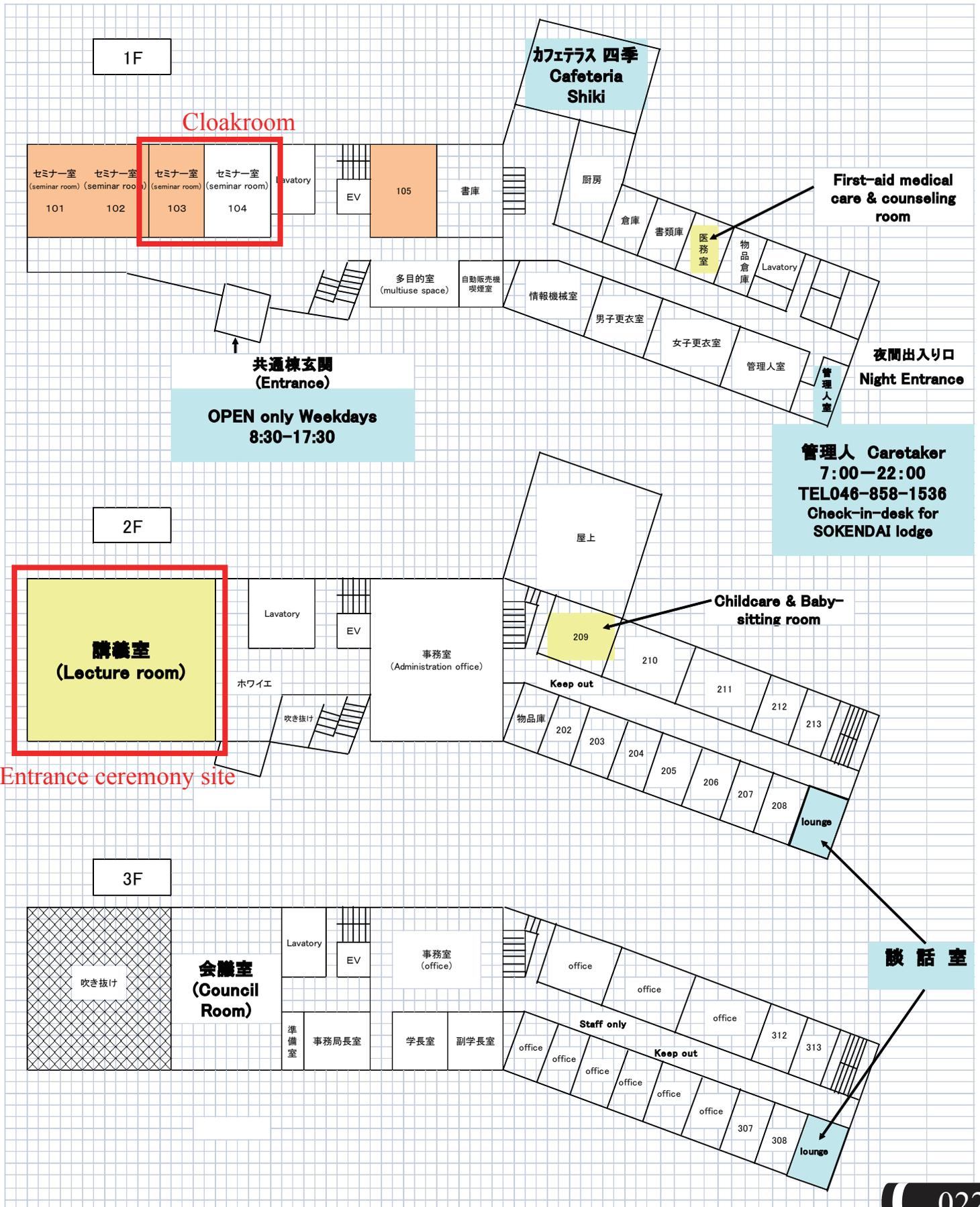
Masako BANDO, Ph.D.

[Title] Emeritus Professor, Aichi University
 The Chairperson of the Board of Directors of NPO "EINSTEIN"
 [Research Area] Theory of Elementary Particles, Traffic Flow Theory,
 Econophysics, Environment Issue
 [Research Subjects] Theory of Elementary Particles
 Physics of Changing Climate
 Statistical Prospect
 Make the Scientific Teaching Aid
 [Reference] NPO "EINSTEIN"
<http://jein.jp/blog-masako.html>



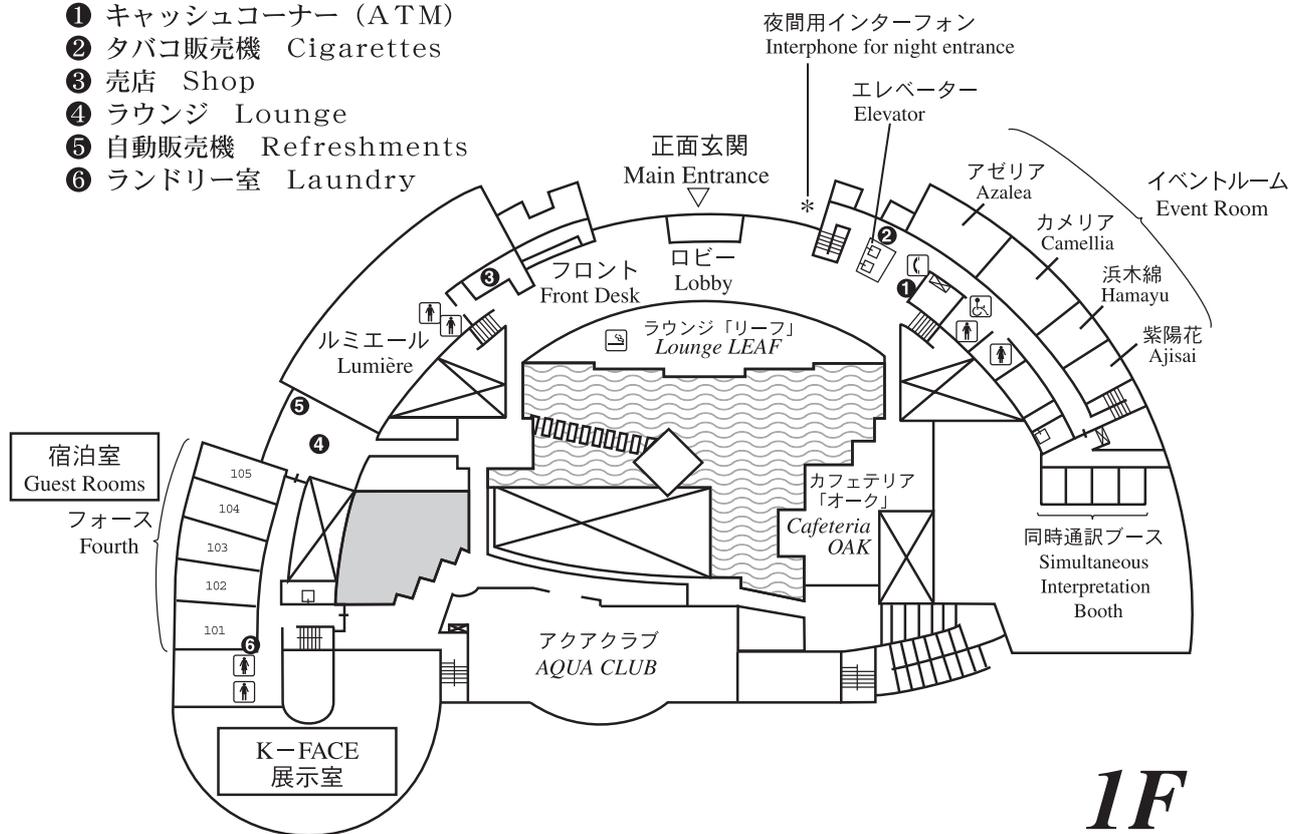
Map of Shonan Village





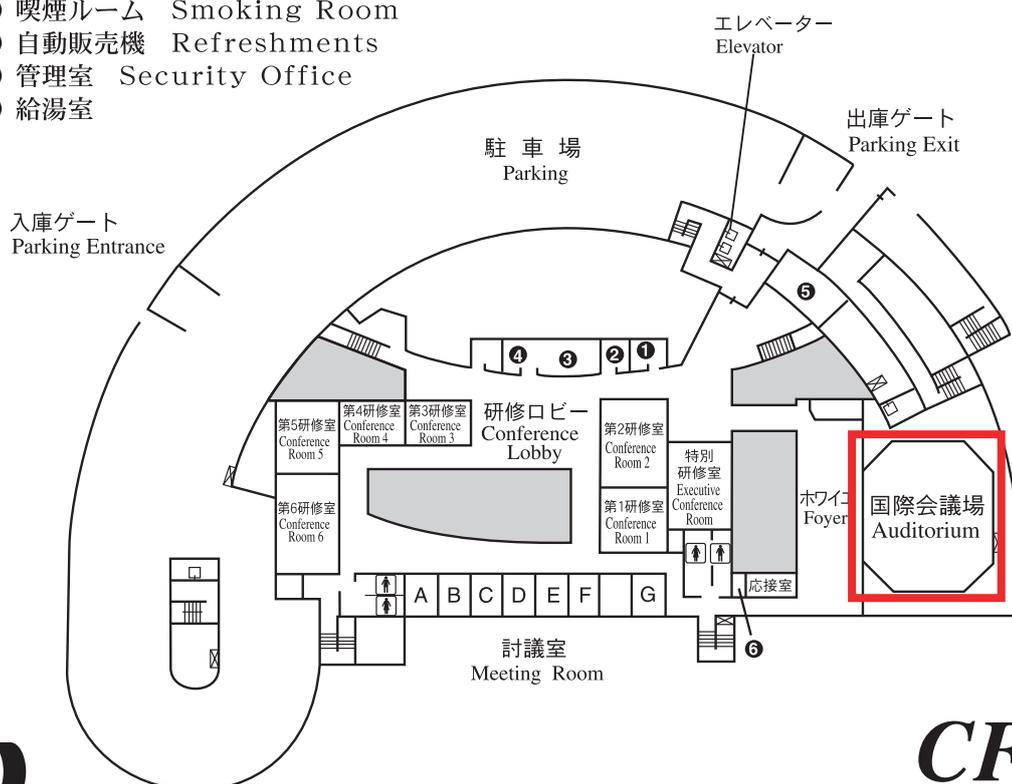
SVC map 館内マップ

- ① キャッシュコーナー (ATM)
- ② タバコ販売機 Cigarettes
- ③ 売店 Shop
- ④ ラウンジ Lounge
- ⑤ 自動販売機 Refreshments
- ⑥ ランドリー室 Laundry



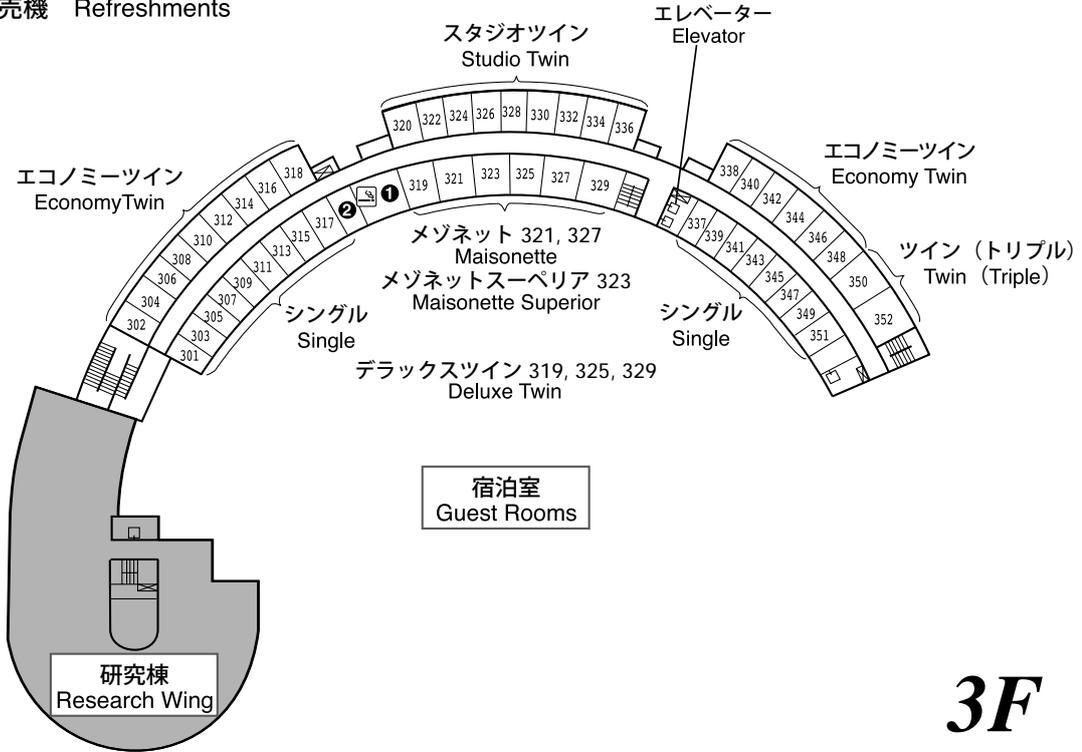
1F

- ① コピー室 Copy Room
- ② コンピュータールーム Computer Room
- ③ 喫煙ルーム Smoking Room
- ④ 自動販売機 Refreshments
- ⑤ 管理室 Security Office
- ⑥ 給湯室



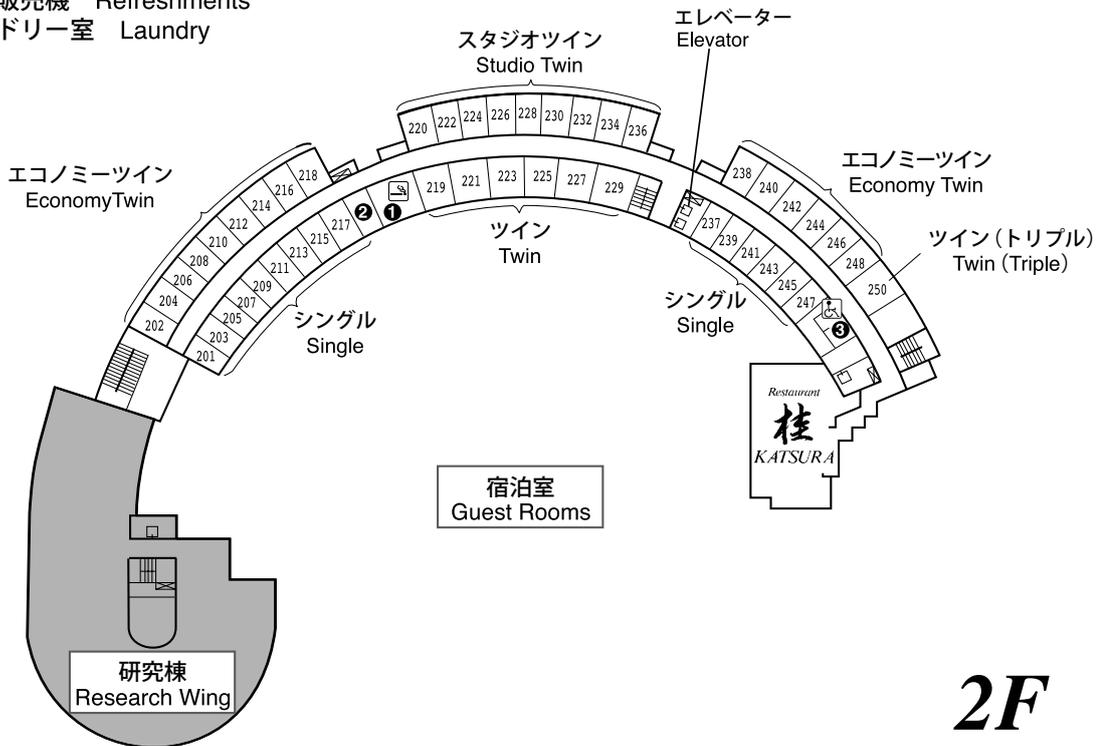
CF

- ❶ ポケットラウンジ Pocket Lounge
- ❷ 自動販売機 Refreshments



3F

- ❶ ポケットラウンジ Pocket Lounge
- ❷ 自動販売機 Refreshments
- ❸ ランドリー室 Laundry



2F

Keihin Kyuko Bus Timetable

For 湘南佐島なぎさの丘 Shonan-Sajima-Nagisano-Oka ⇔ For 逗子駅 Zushi Station

Bus fare : JR Zushi Station to Shonan-Kokusaimura-Makadosawa-Chouseichi ¥320

Getting on/off at the bus stop: **Shonan-Kokusaimura-Makadosawa-Chouseichi**

- 1 Signboard says 急行 or 直行 湘南佐島なぎさの丘 Shonan-Sajima-Nagisano-Oka
⇔ For 逗子駅 Zushi Station
- 2 At JR Zushi 逗子駅, board the bus at platform No. 2
At Keikyu-Shin-Zushi 新逗子駅, board at platform No. 1.
- 3 Time schedule from Shin Zushi station 新逗子駅, add 2 minutes.
- 4 No stop from Shin-Zushi 新逗子駅 to Shonan-Kokusaimura-Makadosawa-Chouseichi.
- 5 Bus trip takes 13 minutes, will be subject to change in case of a traffic jam.
- 6 10 minute walk from the bus stop in front of Family Mart (convenience store) up to the Hayama Campus.

For 湘南佐島なぎさの丘 Shonan-Sajima-Nagisano-Oka		
From JR 逗子駅 Zushi Station		
Hour	Weekdays	Weekends and holidays
6		
7	33	00
8	53	00
9	50	05
10	50	05
11	20	30
12	50	
13		
14		40
15	00	
16	20 45	00
17		15
18	00 20	55
19	20	50
20	10 30	
21	35	00
22	10 50	10
23		

From 湘南国際村間門沢調整池 Shonan-Kokusaimura-Makadosawa-Chouseichi		
For JR 逗子駅 Zushi Station		
Hour	Weekdays	Weekends and holidays
6	54	54
7	29	54
8	24 49	54
9	44	
10	44	04 59
11	44	
12	14	24
13	59	34
14		
15	59	34
16		54
17	19 39	
18		09
19	19	
20	14	44
21	09 29	49
22	24 59	54
23		

Keihin Kyuko Bus Timetable

For 湘南国際村⇔For 逗子駅 or 汐入駅

Bus fare : JR Zushi Station to Shonan Kokusaimura Center ¥340

Shioiri Station to Shonan Kokusaimura Center ¥370

- 1 Signboard says 逗 1 6 or 逗 2 6 , For 湘南国際村 ⇔ For 逗子駅 or 汐入駅
At JR Zhushi Stn. and Shin-Zhushi Stn. please board the bus at platform No. 1.
- 2 c goes via Miura Hanto Chuo Road (through the tunnel; does not by pass through Omichi direction).
- 3 Time schedule from Shin Zushi station, add 2 minutes.
- 4 Bus trip takes 20 minutes, will be subject to change in case of a traffic jam.
- 5 5 minutes walk from the bus stop down to the Hayama Campus.

For 湘南国際村 Shonan Village			Hour	From 湘南国際村 Shonan Village		
From 逗子駅 Zushi Stn		From 汐入駅 Shioiri Stn		For 逗子駅 Zushi Stn		For 汐入駅 Shioiri Stn
Weekdays	Weekends, & Holidays	Weekdays/ Weekends &Holidays		Weekdays	Weekends, & Holidays	Weekdays /Weekends & Holidays
18 50c	18 54	14 35	6	11 54	54	
10c 39c	35		7	22 49	34	05 26
05 22c 54	23	09	8	13 49	11	
23c	16 50	33	9	08 38	08	01
18			10	10	05 36	26
00	21	07	11	07 45		
02	53	47	12	48	10	01
01	47	48	13	45	39	41
04		47	14	50	35	41
02 38	33	47	15	50		41
37	41	50	16	22	22	41
05 49	54		17	25 50	40	45
34	41	05	18	24	34	
02 31	23	14	19	15c 39	17 58	01
20 45	05 47	05	20	06c 54	41	01 56
10 41		06	21	19c 43	20	53
14 50			22	14 47		
			23	23		

来年度セミナー実行委員募集

2011年学生セミナー実行委員を募集します！

学生セミナーとは、総合研究大学院大学 入学式(前期・後期)直後に行われるセミナーを指します。本セミナーは、1990年から毎年 of 前期・後期入学式にあわせておこなわれてきました。

参加者は新入生のみではありません。

総研大の教官、先輩方など、毎年さまざまな方が参加しています。

学生セミナーは、主に前年度入学者から実行委員を募り、次年度セミナーの実施計画から実施までを学生主体で管理・運営していきます。

本セミナーは、各研究科・専攻に共通する課題について、参加者である学生や先輩方、指導教官等さまざまな分野に属する方と意見交換・討論等を行い、お互いの理解を深め、広い視野を得ることを目的とした交流の場となっています。

また、次年度の学生セミナー実施のために、本年度入学者から学生セミナー実行委員を選出いたします。

学生セミナー実行委員は、原則として各専攻から1人以上選出されなければなりません。また、セミナーの開催に向けて年数回の実行委員会を開き、セミナー運営のために必要な事項を決定し、実施します。

具体的には、セミナーのテーマや講演者、プログラム等を決定することにはじまり、セミナー当日にはスタッフとして運営を行います。

なお、学生セミナー実行委員が実行委員会および、当日セミナーに参加する経費(交通費および宿泊費)は総研大がサポートを行います。

学生セミナー実行委員の選出は、各専攻にて話し合いで決定されています。

セミナーの運営や実施を通し、他専攻の方々と交流し、親交を深めるチャンスですので、興味のある方は奮ってご参加ください。

Nominating the next committee members for the student seminar FY2011

●What is the Student Seminar ?

Student seminar is organized by students, who nominates and invite lecturers. Guest lecturers, students, and faculty discuss and debate common issues in research in the schools and departments to acquire a deeper understanding of various fields of research.

●Who participates in the seminar?

Sokendai new / current students and faculty.

●What do the committee members do?

Committee members will be selected among the students, basically one or more representatives each of the departments. The members will hold meetings to discuss and plan the seminar for the next year. In the meetings, the theme, lecturers, programs for the seminar will be decided by the members. The members will also work as administrative staff on the day of the seminar.

The members' traveling costs for attending the meetings/ seminar will be reimbursed according to Sokendai rules.

●How do we select the committee members?

You can nominate yourself or someone else. Anybody who understands the purpose of the student seminar is welcome. Sokendai students themselves select the candidates for the committee members.

Re:

curuit

2009 Student Seminar

2009 All participators.



Committee members & lecturer



Dinner.



2009 Committee members.



Re:

2010 Student Seminar.

参加者一覧 participant

地域文化学専攻

東城 義則

比較文化学専攻

中川 渚
Farhana Yeasmin
金七光 三

国際日本研究専攻

韓玲玲
久里文子

日本文学研究専攻

林 真人
屋代 純子

構造分子科学専攻

堀川 武則
郭浩

機能分子科学専攻

井本 翔

核融合科学専攻

武村 勇輝
後藤 涼輔

宇宙科学専攻

片山 範将
藪田 志保
金澤 慧
長勢 晃一
村田 一心

加速器科学専攻

倉本 綾佳

素粒子原子核専攻

矢田 雅哉
POSCH PAUL
大山 祥彦
久保田 浩永
嶋田 健悟
藤塚 理史

統計科学専攻

花塚 泰史
小野 洋平
楠本 英子

極域科学専攻

安達 大輝

情報学専攻

CHUNWIJITRA SILA
GAJANANAN KUGAMOORTHY
谷堯尚

遺伝学専攻

小野 聖二郎
牧野 仁志穂
坂口 あかね
保坂 碧
横溝 康治
吉野 彬子

基礎生物学専攻

伊神 香菜子
 武田 太郎
 ★★ 徳江 萌
 中島 迪子
 宮崎 友里子
 篠塚 琢磨
 篠塚 裕子
 ★ 豊田 賢治
 福島 健児
 養老 瑛美子

生理科学専攻

石川 達也
 大川 都史香
 島田 浩二
 菅原 翔
 高木 一代
 藤井 大祐
 KECELI SUMRU
 新宅 健司
 高橋 陽香
 竹内 佐織
 田淵 紗和子

生命共生体進化学専攻

皆藤 千穂
 片岡 遼平
 佐藤 亮子
 萬歳 明香
 乾 こゆる
 今井 隆行
 坪山 佳織
 吉田 后那

教員

川口 則幸 (天文科学)
 山岸 久雄 (極域科学)
 高橋 晃周 (極域科学)
 尾崎 幸謙 (統計科学)

Re:R

2010 Student Seminar

全学事業担当教員

戸部 良一 (国際日本研究)
 西山 陽一 (統計科学)
 伊村 智 (極域科学)
 三戸 利行 (核融合科学)

教職員 (葉山)

蟻川 謙太郎 (生命共生体進化学)
 杳掛 展之 (生命共生体進化学)
 平田 光司 (生命共生体進化学)
 颯田 葉子 (生命共生体進化学)
 本郷 一美 (生命共生体進化学)
 田辺 秀之 (生命共生体進化学)
 湯川 哲之 (学長補佐 (学生支援))
 眞山 聡 (学融合推進センター)
 岩瀬 峰代 (学融合推進センター)
 奥本 素子 (学融合推進センター)

敬称略

+2010学生セミナーSTAFF 36名



Re:

2010 Student Seminar

STAFF

Chairperson of the committee.

Satoru Kubo

Head Office STAFF:

Tomohiro Kadowaki	Hideaki Kanzawa
Akira Tanave	Tomoyuki Namima
Takeshi Miyazawa	Tsubasa Muto

Reseachers Session STAFF:

Chikako Sasaki

Keitaro Eguchi	Takuya Suenaga
Yasuhiro Takahashi	Yoshihiro Nakagawa
Takafumi Haga	Eri Yaginuma
Toshiya Yamada	Yoshitaka Yoneda

Relationship Session STAFF:

Atsushi Nakai

Yoshifumi Isizaki	Nagisa Ito
Keisuke Imase	Fumio Okuno
Keita Kataoka	Naonori Kato
Masaru Sato	Yoshiki Toba
Toshiya Nishimura	Yasuyoshi Hisamoto
Takahiro Miura	You Sou
Sayuri Yoshida	

Re:

2010 Student Seminar

STAFF

Realization Session STAFF:

Yohei Kikuta

Yumi Omori
Ayaka Kawashima
Seiya Kobayashi
Shota Masumoto

Nobuya Kaneko
Mieko Kono
Ayumi Suzuki

Supervisors.

Dr. Mineyo Iwase
Prof. Kohji Hirata

Special thanks to Hayama office room!

Presented by

SOKENDAI



Designed by
Ayumi Suzuki

